

芸閣

～図書館だより～

第9号
2022年12月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

今年の漢字

12月12日、2022年の世相を一字で表す「今年の漢字」は「戦」に決まりました。

ウクライナ侵攻や北朝鮮の相次ぐミサイル発射など「戦」を意識したという声が多かったためだとか……。 「今年の漢字」に「戦」が選ばれたのはアメリカの同時多発テロが発生した2001年以来、二度目。

来年は、平和を感じるような漢字が選ばれる年になってほしいですね。



高校1・2年生 中学生 後期図書委員さんへ

図書館講座のお知らせ

日時 12月21日(水) 午後1時～2時(予定)
場所 桐蔭図書館
内容 豆本をつくろう!

☆図書館講座の時間に、面談を入れないよう気をつけてください。

☆はさみ、スティックのりを持参してください。
(無い人は構いません 図書館でも少し用意します)



新しく買った本の紹介



日本の小説



『烏の緑羽』阿部智里 著 文藝春秋

『むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。』青柳碧人 著 双葉社

『赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。』青柳碧人 著 双葉社

『ソードアート・オンライン』25～26 川原礫 著 KADOKAWA



社会科学



『英語教育論争史』江利川春雄 著 講談社

『危機の中の学問の自由』羽田貴史ほか 著 岩波書店

『「死んでもいいけど、死んじゃだめ」と僕が言い続ける理由』大空幸星 著 河出書房新社

『from under 30世界を平和にする第一歩』河出書房新社

『少年のための少年法入門』山下敏雄ほか 著 旬報社

『佐渡鉱山と朝鮮人労働』竹内康人 著 岩波書店



自然科学



『脳の名医が教えるすごい自己肯定感』加藤俊徳 著 クロスメディア・パブリッシング

『ウイルスって何だろう どこから来るのか?』青野由利 著 筑摩書房

語学



『苦手から始める作文教室 文章が書けたらいいことはある?』津村記久子 著 筑摩書房

『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典』油谷幸利ほか 編集 小学館

その他



『お金に頼らず生きていたい君へ』服部文祥 著 河出書房新社

『悩んでなんぼの青春よ～頭がいいとはどういうこと?』森毅 著 筑摩書房

『〈萌えすぎて〉絶対忘れない! 妄想古文』三宅香帆 著 河出書房新社

